シンフォニア通信　第80号

東京都日野市東平山 3-1-19
社会福祉法人　大家族
特別養護老人ホーム シンフォニア

～ごあいさつ～

今年も師走を迎えました。一年があっという間に過ぎ去ったように感じる今日この頃です。師走は、一年を振り返り、また一方では新しい年を迎える準備を進める時期でもありますが、来年は平成から新元号に代わることが決まったようです。大正、昭和、平成と暮らしてこられたご利用者にとっては感慨深いものがあるのではないかと思います。

平成の時代の出来事では、今も復興の過程にある未曾有の大被害を出した東日本大震災など自然災害の恐ろしさが心に刻まれています。今年も各地で災害が発生し多くの被害が発生しました。漢検が清水寺で発表した漢字でも災害の被害減少を願う世相を反映した文字として「災」が選ばれています。

悲惨な状況を生みだす災害被害をいかに減災できるか、日々の生活の中で自分たちに何ができるかを考えていくことが重要であると思います。

施設でも不測の災害に備え、食料品の備蓄や避難訓練の実施など緊急時を想定した対策を講じておりますが、繰り返しの訓練を怠らないよう努めてまいりたいと思います。

また最近では「ＡＩ」という言葉をよく聞くようになりましたが、人工知能の技術革新が介護の世界にも大きな影響を与えるようになってきました。

数年前に首都大学東京で研究していた会話や可愛い仕草ができるアザラシ型ロボット「パロ」を３か月ほど受け入れ活用した経験があります。

結果は、ご利用者がパロと触れ合うことで笑顔や会話が増え、気持ちが落ち着くなど癒しやセラピー効果が大いにあったように感じました。新たな時代を迎えて人工知能の活用が介護業界にも幅広く広がり、利用者や職員にとって望ましい変革がもたらせられることを期待しているところです。

さて、施設では 12 月慣例のクリスマスディナーを８日に開催しました。

今年も斎藤先生と大村先生の歌声とピアノ演奏でクリスマスの夜を演出していただき、天使の歌声と言われるグラスハープの演奏などを職員が行って大いに盛り上がりました。

施設の一年の行事はこのクリスマスディナーを持って締めくくることになりますが、御家族の皆様にはその都度多数ご参加いただきありがとうございました。ご利用者の皆様にとってはご家族と過ごす時間は心安らぐ時間ではないかと思います。今後とも施設運営にご理解ご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとって新しい年が幸多き年となることを祈念申し上げ、今年１年の通信の結びとさせていただきます。

特別養護老人ホーム　シンフォニア
施設長　樫村　正男

CHRISTMASDINNER　2018

☆~MENU~☆

・X'MAS ろーる寿司

・グリルドちきん　オレンジソース

・温野菜のぐりる

・鮭のペあテリーヌ

・しふぉんケーキ季節のフルーツ添え

・キャロットらペ

・和風ぶいやベース

１２月８日(土)　今年も恒例のクリスマスディナーが催されました。いつもより豪華なディナー、斉藤先生と大村さんの素敵なクリスマスコンサート、職員によるハンドベルとグラスハープの演奏、星に願いを、第九の合唱と、日々の生活とは少し違う雰囲気を感じとり、クリスマスの夜を楽しんで頂けたのではないでしょうか。

また来年も皆様に楽しんで頂けるイベントを開催できるよう、職員一同、努力していきたいと思います。